

OCP セミナー質疑応答まとめ(2014年4月30日実施セミナーより)

1) CoC 制度への OCP 導入について:

- Q. 日本ではオリジネーションエラーが頻繁に起こっているとは考えられず、FSC の信頼性も損なわれていないと思われる中、OCP により手間が増えることは受け入れがたい。
- A. 確かに日本では問題が起こっているとは聞いていない。日本では FSC の信頼性の問題が発生していないのも事実であろうが、世界的には不正をしようと思えばできるという仕組みそのものが問題となっており、環境団体などから指摘を受けている。PEFC、MSC、ASC などの CoC システムすべてが同じ脆弱性を持っているが、FSC は先駆けてより強固な制度とすべきであるという意見が多い。環境団体から見放されてしまうと、FSC の価値が低下し、日本の認証取得者にも影響がある。
- 一方、OCP 導入は現時点で確定したわけではない。CoC の脆弱性を是正するために OCP 以外の方法についても検討をしているので、良いアイデアがあれば教えて欲しい。また同時に OCP のテストをしていただき、OCP を利用する上で、実装して欲しい機能などがあれば教えて欲しい。
- Q. 仕入販売は企業情報であり、この情報が 1 箇所に集中していることに関する法的な問題について日本でも確認をして欲しい。具体的にいつ、誰がどこに確認をするのか計画を教えて欲しい。
- A. すでに利用規約に関して頂いた質問は、FSC 本部の法務に確認をしているが、日本での法的な問題に関する確認は現時点で計画されてはいない。5 月 15 日まで利用規約のコメントを募集しているので、同じ意見でも良いので送ってほしい。日本からの声が多ければ、日本に対する対応をしなればととなる。
- Q. OCP 開発費用は FSC 認定管理料から出されているはずである。全認証取得者に対する義務的なシステムであれば納得できるが、任意使用となるのであれば、認定管理料から開発費用が出されるのはおかしいのではないか。
- A. 認定管理料の増額のタイミングと OCP の導入の話が 2013 年に同時に起こったのだが、これらは独立しており、OCP のために認定管理料を増額したわけではない。
- OCP 自体の考え方は数年前から FSC 理事会で出てきていた。OCP 開発当初はすべての認証取得者が使うことを前提としていたために認定管理料が使用されていた。最近、多くの利害関係者からの意見を基に OCP の任意利用ということも検討が始まった。また OCP を何ら頭の方法で導入することにより FSC 全体の信頼性が担保されるのであれば、全認証取得者に開発費用を負担してもらうことも納得できるのではないか。
- Q. オリジネーションエラーの 1 つである、仕入先の認証の有効性確認漏れについては、仕入先の認証が一時停止や無効になった時点で、仕入先が顧客に対して通知義務を負うという対応方法ではいけないのか。OCP という方法しかないのか。
- A. 世界的には一時停止になったことを隠したいという企業もいる。CoC 基準に「認証一時停止になった場合は 3 営業日以内にすべての顧客に通知する」というような要求事項を入れることはできるが、一時停止または認証返上している会社は、そもそも認証要求事項を守らないことが予想される。
- Q. オリジネーションエラーの発生割合が知りたい。OCP を正当化出来るだけの数字を示してもらわないと納得出来ない。
- A. 現時点で何%という数字はない。現在調査中であり、近いうちに環境団体などから指摘を受けている問題について背景を説明する資料を準備する予定である。ただし全く根拠が無いままに動いているわけではなく、認証機関からの報告や DNA テストを用いた調査により、認証製品でないものが認証製品として販売されているケースが発見されている。FSC としては、認証取得車も増える中、そろそろ CoC の仕組みを

強化しなければいけないと感じている。

Q. API 導入の費用負担は FSC で少しでもカバーできるのか。

A. FSC として API 導入の費用をカバーすることはできないが、早い段階でパイロットテストとして位置づけるのであれば、専門家による作業の FSC や HF 側のスタッフ費用は FSC が持つことができる。

Q. OCP について今後の具体的な予定を知りたい。

A. 現時点で OCP が義務化されるかは決まっていない。現在は多くの利害関係者と協議を行っているところである。早ければ今年 6 月くらいまでに、遅くとも今年中には FSC 理事会により今後の OCP の方向性が決定される。

OCP が義務化される際には少なくとも 6 ヶ月前には認証取得者に通知される。

Q. 情報セキュリティが 100%安全ということはない。利用規約 10 に情報漏洩の際の FSC の責任が書かれているが、FSC の責任範囲が狭すぎる。

A. セキュリティの問題については多くの意見をもらっている。FSC でも真剣に取り組んでいる。利用規約の 10 については世界中から多くのコメントを受けている。日本からも正式なコメント出してもらえると嬉しい。

Q. 人間が入力する際には必ずヒューマンエラーが起こる。ドロップダウンリストを使用すると、間違えたものを選択してしまうミスが必ず起こる。このようなもので FSC の信頼性が高まるのか。

A. ドロップダウンリストでミスが増えるのであれば、スプレッドシートを使用する方が良いかもしれない。入力ミスを防ぐために、可能な限りコピーペーストをして欲しい。些細な入力ミスであれば、特に問題にはならない。

2) OCP のメリットについて:

Q. OCP のメリットが感じられない。

A. FSC としては認証取得社からこのようなメリットが欲しいということをお願いしたい。できれば、このような機能を実装すれば CoC 基準のこの部分は自動的に適合するというアイデアが欲しい。

Q. 私は非常に事業規模の小さい認証取得者であり、私にとっては OCP は良いものである。現在の日本では FSC そのもののメリットを感じられていない企業が多いため、OCP という新しいものを導入することへの反対意見も多いのだと感じる。私は FSC 制度の完全性が高まるものであり、自身の手間はさほど増えないので良いと感じる。

A. ありがとうございます。

3) OCP の使い方について:

Q. 仕入量と販売量の整合性について、認証機関の監査を受けたタイミングで、まだ顧客が OCP に情報を入力していない場合は、仕入量と販売量がイコールにならない。どうしたらよいか。

A. 原則的には仕入量が販売量を上回っていれば良い。監査のタイミング次第でこのようなことは起こりうるが、それも説明できる範囲の問題であり、認証機関の監査員が納得できる理由が説明できれば問題ない。

4) その他:

- Q. 問題の根本に、需要を満たすだけの認証材供給ができないという問題があるということを理解した。この根本的な問題の解決に向けたアプローチも見える形で示して欲しい。
- A. 了解した。
- Q. 2 回めのセミナーを行うのであれば、月末や 20 日前後の煩雑な時期を避けて実施して欲しい。
- A. 次回開催時には避けるようにします。
- Q. 非認証製品に FSC ラベルがついてしまっているという現象は、認証取得者の不正によるものよりも、非認証取得企業が勝手に FSC ラベルを使っているケースのほうが多いと思う。これらを取り締まることの方が FSC の信頼性を高めることに繋がるのではないか。このような取り締まりをする計画があるのか知りたい。
- A. これは世界的に起こっている問題であることは FSC としても認識している。非認証取得者による FSC トレードマークの不正使用については FSC 品質保証ユニットという部署で対応している。
- Q. 仕入先が購入者の代わりに OCP への入力ができるというルールは、自社にとっては非常に困る。仕入先、顧客との力関係上、自社が購入も販売も記録することになるであろう。このルールができた経緯を知りたい。
- A. 経緯としては、認証取得者の要望によるものだったので、このようなコメントをもらうとは思っていなかった。このような考え方があるというのは非常に参考になる。OCP チーム内で検討したい。